

トップメッセージ



くらしを見つめ、 ニチレイならではの価値を創造する

株式会社ニチレイ 代表取締役社長

大谷 邦夫

ニチレイグループが事業を通じて社会が抱える課題を解決していくためには「くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する」というミッションを誠実に遂行していくことが重要と考えています。「地球の恵みを生かす」、「強い社会インフラ」をキーワードに、加工食品、水産、畜産、低温物流、バイオサイエンスの各事業分野で、ニチレイならではの新しい価値を創造し、社会に貢献していきます。

今後持続可能な社会の実現に向け、より長期的な視点を持った経営の実践が重要であり、2018年度は「安全な商品とサービスの提供」「持続可能なサプライチェーンの構築」を優先的に取り組む重要な事項と位置づけました。安全な商品とサービスの提供は当社グループの最も基本的かつ重要な提供価値であり、その実現には持続可能なサプライチェーンが必要です。この2つの重要な事項は、新たな価値創造への大きなチャンスであるとともに、リスク要因にもなりうることを常に意識しながら、事業を展開していくことが大切です。一方、企業風土や組織体制の面では、従業員一人ひとりが「働きがいを感じる会社」を実現するために、働き方改革を進めるとともに、透明性の高い経営を続けていきます。

国連では「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択され、2030年までに解決すべき世界共通目標が定められました。さまざまな社会課題がある中、私たちの事業と密接に関連するのがSDGsのゴール12「つくる責任つかう責任」です。冷凍食品、水産・畜産品や低温物流サービスなどをうまく活用してフードロスの削減に取り組むことなどにより、SDGsの達成に貢献できると考えています。

ステークホルダーの皆さまへ

私たちは、これからもくらしを見つめながら、皆さまに満足いただける価値を提供し続けてまいります。そして、ステークホルダーの皆さまとの対話を深めながら社会課題の解決に努め、持続的成長を目指してまいります。

持続可能な開発目標(SDGs)とは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



2015年に国連の「持続可能な開発サミット」に150以上の国々の首脳が参加し、人間や地球のより良い将来のため、2030年を目標とした行動計画「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この行動計画が17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」です。政府や企業、市民社会が連携して取り組むことが求められています。ニチレイグループは事業活動や「ニチレイの約束」の取り組みを通じて、SDGsに取り組んでいきます。